

## 第3回ドコモ杯南九州ジュニア・ラグビー交流大会〈報告〉

令和元年12月1日（日）、令和初の師走に入ったものの晴天に恵まれ少し汗ばむような陽気の下、鹿児島県立サッカー・ラグビー場において、第2回ドコモ杯南九州ジュニア・ラグビー交流大会が開催されました。

今回は、宮崎県から3チーム、鹿児島県から5チーム、計8チームの中学生153名が参加して行われました。本年度は、トーナメント方式でなく、Aグループ5チーム、Bグループ4チームに分かれ、各グループで総当たりのリーグ戦が行われました。

結果はAグループを延岡市立東海中学校、Bグループを高鍋市立高鍋西中学校の宮崎県勢2校がそれぞれ制しました。閉会式後には、レッドハリケーンズのユニフォームがNTTドコモCS九州鹿児島支社からプレゼントされ、アトラクションとして全員でジャンケン大会を行い、大変盛り上がりました。



### ☆A グループ☆

Aグループは、宮崎県から延岡市立東海中学校と宮崎ラグビースクール、鹿児島県からは鹿児島ジュニアRFC、鹿児島オールブラックスとライジングサン鹿児島の5チームが総当たりでカップを競いました。どのチームも1・2年生とは思えないスキルの高さで、随所でジャッカルやオフロードパスなど高いパフォーマンスが見られました。その中でも東海中学校と鹿児島ジュニアRFCが頭一つ抜け、全勝同士で最終戦を戦い、直接対決を制した東海中学校がAグループのカップを獲得しました。

〈結果〉 優勝：延岡市立東海中学校 準優勝：鹿児島ジュニアRFC

〈各チームの紹介〉

#### ■延岡市立東海中学校

足腰が鍛えられており、コンタクトが強い選手が多い。そのポテンシャルの高さから、接点でのターンオーバーからチャンスを作り、トライに結び付けていた。

#### ■鹿児島ジュニアRFC

1・2年生のチームであるものの、前年度のチームからゲームに出て経験豊富な選手が多く、チームのレベルが高い。フォワードにもバックスにも突破力のある選手が目立っていた。

#### ■鹿児島オールブラックス

3敗はしたものの気持ちの入ったいいゲームをしていた。バックスラインが流れるのが気になったが、FBにスピードのある選手がおり、どのようにライン参加するかが楽しみなチームだった。

## ■ライジングサン鹿児島

キックを効果的に使い効果的にエリア獲得を図っていた。他チームに比べ線が細い選手が多かったが、今後、成長とともに体が出来上がってくると楽しみなチームであった。

## ■宮崎ラグビースクール

パスワークのスキルが高く、パス回しのテンポがよい。全体的に戦術の理解ができており、レベルが高い。個々の身体の成長とともに、チームの成長が楽しみなチームであった。

## ☆B グループ☆

B グループは、当初は宮崎県から 2 チームの参加する予定でしたが、学校行事と重なり参加できなくなり、急遽、鹿児島県内のチームで合同チームを編成することになりました。そのため、宮崎県から高鍋市立高鍋西中学校、鹿児島県からは鹿児島玉龍中学校、ラサール中学校、合同チームの 4 チームが総当たりでカップを競いました。どのチームも半数を 1 年生が占めるというチーム編成で、小柄な選手も多かったのですが、その中でもチームワークが素晴らしい高鍋西中学校が他チームを圧倒し、B グループのカップを獲得しました。

<結果> 優勝：高鍋市立高鍋西中学校      準優勝：鹿児島玉龍中学校

<各チームの紹介>

### ■高鍋市立高鍋西中学校

1 年生主体のチームであるが、決して身体のサイズは大きく無いが、一人一人のランニングスキルの高さ、またトライする寸前まで必ずみんなでフォローする意識の高さが伺えた。

### ■合同チーム

女子が複数名入っていて、試合中にも女子の大きな声や自分の体よりも男子に果敢にタックル姿が度々見られていました。1 年生主体でしたので、来年に向け、さらなる成長を期待します。

### ■鹿児島玉龍中学校

最後まであきらめずに我慢強くタックルを繰り返し、徐々に自分達のペースに持ち込む強さを持っている。学校規模が小さいため部員不足に悩まされているが、夏に向けさらなる飛躍を期待したい。

### ■ラサール中学校

チーム全体で前へ前へとボールを運ぶことができる「つなぐ」意識が高いチームである。ラインブレイクされた後でも最後まで諦めず追いかけて、そしてタックルする姿に今後の成長が目に見えた。

